

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	8月2日(日) ～7日(土)	水工学に関する夏期研修会(北海道支部共催)	札幌市	7号5 ページ参照
	8月9日(月) ～14日(土)	同	〃	7号5 〃
	8月26日(木) ～27日(金)	昭和40年度夏期講習会	東京	7号2 〃
	10月20日(水) ～21日(木)	第8回地震工学研究発表会	土木学会	7号3 〃
関東支部	7月17日(土)	学生のための映画会	前橋市	6号5 〃
	8月3日(火) ～4日(水)	黒四ダム発電所見学会	長野県	7号6 〃
	9月29日(水) ～30日(水)	秋のエクスカーション	山梨・静岡県	7号6 〃
中部支部	8月27日(金)	第2回見学会	中部地区	7号6 〃
	9月22日(水)	第1回技術講座	名古屋市	7号6 〃
	10月22日(金)	第1回研究発表会	名古屋市	7号6 〃
そ の 他	9月6日(月) ～8日(水)	第15回応用力学連合講演会	東京大学	5号3 〃
	9月9日(木) ～10日(金)	第9回材料試験連合講演会	東京	5号4 〃
	10月18日(月) ～19日(火)	災害科学に関する第2回合同総合講演会	東京	7号7 〃
	10月28日(木) ～30日(土)	第14回レオロジー討論会	仙台	6号83 〃
	11月26日(金)	第12回橋梁・構造工学研究発表会	東京	7号4 〃
お知らせ	■土木図書館へ蔵書ご寄贈方をお願い			7号2 〃
	■昭和40年版土木学会会員名簿発刊について			7号3 〃
	■第12回海岸工学講演会講演募集			7号4 〃
	■第10回海岸工学国際会議論文募集			7号4 〃
	■第3回岩盤力学に関するシンポジウム講演募集			7号7 〃
	■他学会と相互便宜の供与について			7号7 〃
<h2>日本学術会議第7期会員選挙立候補者の推薦</h2> <p>本年11月25日に行なわれる標記の件につき、理事会において協議の結果、土木学会ではつぎの2名の方を推薦することになりましたのでお知らせ致します(50音順)。</p> <p>(全国区第5部 土木工学)</p> <p>石原 藤次郎君 昭和5年京都大学卒 工学博士 京都大学教授 専攻 河海工学</p> <p>平 井 敦君 昭和11年東京大学卒 工学博士 東京大学教授 専攻 橋梁工学</p>				

昭和 40 年度夏期講習会

今年の夏期講習会は「構造工学における最近の諸問題」と題して下記の 12 人の方を講師にお願いすることになりました。本講習会では、最近完成した数多くの土木構造物の工事の実施例、また現在工事が行なわれている東名高速道路・天草橋等の工事に例をとりながら、舗装・材料・支保工・型わく・高架橋・橋梁・耐震等の問題点について詳細な講習を行ないますので多数ご参加下さるようご案内いたします。

1. 会 場：豊島公会堂（東京都豊島区池袋東 1 の 19）冷房完備
2. 参加費：会 員 2 000 円（教材費をふくむ）
非会員 3 000 円（ ” ）
3. 申込方法：本号添布の申込用紙に必要な事項を記入して 8 月 10 日までに会費をそえてお申込み下さい。
4. 教 材：構造工学にける最近の諸問題（各講師の方に執筆いただいた原稿をとりまとめて活版印刷を行ないます）
休 裁：B 5 判 260 ページの予定
定 価：講習会当日 1 100 円
一般頒価： 1 400 円

講 演 時 間 お よ び 題 目・講 師

8 月 26 日（木）

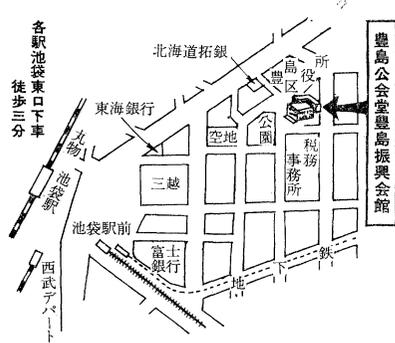
9.30～9.40	会長 あいさつ	土木学会会長	岡 部 三 郎
9.40～10.30	最近のコンクリート舗装	建設省土木研究所	伊 東 茂 富
10.40～11.30	軽量コンクリートの諸問題	東北大学教授	後 藤 幸 正
11.40～12.30	高張力異形鉄筋について	東京大学教授	国 分 正 胤
13.30～14.20	最近の支保工および型わく	首都高速道路公団	上 前 行 孝
14.30～15.20	最近のコンクリート混和材料	国鉄鉄道技術研究所	三 浦 一 郎
15.30～16.20	最近の注入工法における諸問題	国鉄鉄道技術研究所	樋 口 芳 朗

8 月 27 日（金）

9.30～10.20	最近の鋼構造の継手	京都大学教授	小 西 一 郎
10.30～11.20	高張力鋼使用上の問題点	建設省土木研究所長	村 上 永 一
11.30～12.20	薄板構造の設計施工における諸問題	東京大学教授	奥 村 敏 恵
13.20～14.10	鋼杭基礎工法における諸問題	八幡製鉄 K K	石 井 靖 丸
14.20～15.10	鋼橋架設上の問題点	横河工事 K K	田 中 五 郎
15.20～16.10	構造物の耐震設計および工法	東京大学教授	久 保 慶 三 郎
16.10～16.20	閉会 あいさつ		

◀ 8 月 26 日（木）～27 日（金） ▶

会 場 案 内 図



土木図書館へ蔵書ご寄贈方お願い

土木図書館が業務を開始してから 4 ヶ月、利用者も日増しにふえ関心も非常に高まって参りました。学会としての創立 50 周年記念事業費予算より相当な額を図書整備費に回し、皆様のご期待にそえるような土木工学総合図書館の実現へ努力いたしております。しかしながら過去数十年間にわたり発刊された文献はぼう大な数に上り、さかのぼって収集することはとおてい不可能であります。そこで会員各位から、蔵書の一部を学会へご寄贈いただくことができれば、より有効な活用が計れるものと考え、お願い申上げる次第です。

重複をさけるため種類、内容などご寄贈いただけるものリストをお送り願えれば図書館で整理し改めてお願いすることになります。とくに明治・大正・昭和初期、太平洋戦争時の文献はきわめて不足しておりますので、先輩会員各位のご協力を切望いたします。

ご連絡は土木図書館（東京都新宿区四谷 1 丁目・351-5130）へお願い致します。

昭和 40 年版土木学会会員名簿発刊について

昭和 40 年版土木学会会員名簿は、下記要領によって本年 11 月上旬発行の予定で、目下その準備にかかっております。名簿は会員の皆様の異動等について密接なご連絡がなければ正確を期しがたいのであります。日常多くの異動ご通知に接し遅滞なく整理いたしておりますが、毎月発送の会誌が若干返送されてくるところから見て、異動のご連絡のない方があるよう見うけられます。また住居表示、役職名、電話番号等の変更についてのご連絡もれもあるかと思われまふ。名簿の正確を期すため、改めて登載事項についてご通知いただきたく、本誌 6 月号にハガキを挿入いたしました。7 月 31 日までに学会に到着するようご協力のほどお願いいたします。

土木学会会員名簿業界案内欄（広告）掲載依頼について

従来土木学会会員名簿には、業界案内欄を設け、会員が常に関心をもっている関連各業界の全貌を紹介して、非常に好評を博しております。本年 11 月上旬その昭和 40 年版を下記要領によって発刊いたしますが、一層完璧な業界案内欄といたしたいと念願いたしますので、特別会員各位はじめ一般業界各位のご賛同とご協力を切望いたします。いずれくわしいことは、別途ご連絡いたしますから何分よろしくお願ひ申し上げます。

昭和 40 年版土木学会会員名簿発刊要領

(1) 内 容

1. 学会要項：定款、規則および諸規定、役員、評議員、支部役員、各委員会委員、歴代会長、土木賞受賞者、吉田賞受賞者、職場班、事務局
2. 会員名簿：①名誉会員および正会員の学位、氏名、出身校、卒業年次、勤務先、役職名、住所、電話
②学生会員の氏名、学校名、連絡先 ③特別会員の名称、級、所在地、電話 ④賛助会員の名称、所在地、電話
3. 関係機関：①国会、中央官庁、公共企業体、政府関係機関および地方自治体の名称、所在地、電話、関係局 部課名 ②学校の名称、所在地、電話、関係部科名 ③研究機関の名称、所在地、電話 ④学会および協会の名称、所在地、電話
4. 業界案内：電力会社、コンサルタンツ業、建設業、コンクリート工業、橋梁水門製作業、測量業、建設機械業、建設材料業、諸工事業その他の名称、代表者、営業種目、所在地、電話

(2) 大きさ、体裁：A 5 判 7 号横組 700 ページ程度

(3) 頒布価格：学生会員 250 円（送料 150 円）会員外 600 円（送料 150 円）

(4) 発行期日：昭和 40 年 11 月上旬

(5) 申 込 所：土木学会会員課（東京都新宿区四谷 1 丁目 振替東京 16828）

第 8 回地震工学研究発表会講演募集

◀10 月 20 日（水）～21 日（木）▶

土木学会耐震工学委員会では、下記により第 8 回地震工学研究発表会を開催いたしますので、発表ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂

2. 募集規定：

(1) 講演内容：理論、実験、研究、耐震設計の実例、復旧工事、震害等

(2) 申込方法：7 月 31 日（土）までに、題目、講演者氏名、勤務先を明記し、土木学会耐震工学委員会にお申込み下さい。

3. 講演概要原稿締切：8 日 31 日（火）

講演内容がわかるように講演概要はオフセット印刷とします。原稿はなるべく研究の考え方を主とし、原稿の長さは 1 題目 2 ページ以内（図表を含み約 2800 字）を所定の原稿用紙にスミ書きにしてください。特に超過する場合は、超過 2 ページまでは 1000 円の実費を原稿提出の際に添付願ひます。原稿の採否は、土木学会耐震工学委員会にご一任下さい。なお、講演時間は、15 分～20 分（質問時間を含まず）の予定です。

第 12 回海岸工学講演会講演募集

◀11 月中旬▶

第 12 回海岸工学講演会は 11 月中旬名古屋市において開催することになりました。講演ご希望の方はつぎの要領によりふるってご応募下さい。

1. 講演申込期日：1965 年 7 月 31 日（土）
2. 講演原稿締切：1965 年 8 月 14 日（土）
3. 講演申込みおよび原稿について：
 - ① 講演申込みは 7 月 31 日（土）までに講演題目・著者名（連名の場合は登壇者に○印を付ける）、予定ページを記入してハガキで下記申込先へお申込み下さい。
 - ② 同一題目の講演を一緒に 2 編以上提出しても受け付けません。
 - ③ 原稿 1 編の長さは原則として刷上り 6 ページ以内（400 字詰原稿用紙 30 枚以内・図表・写真をふくむ）とします。
 - ④ 原稿の内容により 6 ページ以内に収録することが困難な場合は著者の希望により 10 ページまでの超過を認めますが、この場合は著者に超過 1 ページにつき 1500 円負担していただくか、超過 1 ページあたり講演集を 2 冊お買上げいただきます。
 - ⑤ 図面は必じスミ入れし、説明文字は鉛筆書きにしてください（図面のスミ入れが困難な場合は費用をご負担いただければ当方でいたします）。
 - ⑥ 原稿には必ず超過希望の有・無を明記して下さい。
 - ⑦ 別刷は希望により実費で差し上げますので原稿に必要部数をご記入下さい。
 - ⑧ 著者校正ご希望の方はその旨明記して下さい。
4. 申 込 先：東京都新宿区四谷一丁目 土木学会海岸工学講演会係

第 10 回海岸工学国際会議論文募集について

第 10 回海岸工学国際会議（10th Conference on Coastal Engineering）は、明年 9 月上旬に東京（または東京の近く）で開かれることになりました。この会議に論文発表希望の方は、論文題目とタイプ用紙 1 ページ以内のアブストラクト（英文または仏文）6 通を 1966 年 1 月末日までに下記宛にお送り下さい。

Prof. J.W.Johnson, Secretary Coastal Engineering Research Council 412, Hesse Hall
University of California Berkeley 4, California U.S.A.

送られたアブストラクトは論文委員会（日本からの委員は本間 仁教授）にまわされますので、期日に遅れないよう、早目にご用意下さい。会議の参加費は 20～25 ドルの予定です。

なお、不明の点は下記にお問合せ下さい。

第 10 回海岸工学国際会議組織委員会 委員長 本 間 仁 教授
東京都文京区東京大学工学部土木教室内 電 812-2111 内線 3221

構造物における高張力鋼とその接合に関する研究発表会論文募集

（第 12 回橋梁・構造工学研究発表会）

◀11 月 26 日（金）▶

今年度は下記要項により、標題の研究発表会を開催いたします。論文提出希望者はふるってご応募下さい。

1. 主 催：日本学術会議橋梁構造工学研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
2. 会 場：日本建築学会会議室
3. 募集規定
 - （1）論文内容：構造物における高張力鋼の最近の研究成果、とくに高張力ボルト、溶接、圧接などその接合に関する研究成果
 - （2）申込方法：8 月 15 日（期限厳守）までに、論文題目、発表者氏名、勤務先を 100 字以内の論文梗概をそえて学会に申し込んで下さい。採否は学術会議の上記研究連絡委員会にお任せ願います。
 - （3）論文原稿：発表をお願いする方には、9 月 30 日までに 400 字詰原稿用紙 24 枚以内（図表、写真を含む）を提出いただきます。
 - （4）その他：発表会終了後、適宜論文を指名、欧文原稿の提出を依頼し、論文集として海外に配布する予定。

水工学に関する夏期研修会

◀8月2日(月)~7日(土), 9日(月)~14日(土)▶

水理学に関する最近の高度の知識を研さんし、その水工技術への応用を図るために昨年京都市において開催された第1回水工学夏期研修会の好評に応え、本年度も水理委員会および北海道支部の共催のもとに、下記の要領により、第2回水工学に関する夏期研修会を開催致します。関係各位の絶大なご協力をお願い致します。

1. 場 所：札幌市北 12 条西 8 丁目 北海道大学工学部 電話 (0122) 71—2111
2. 研修内容の程度：大学院修士，博士コース程度（本年度は応用面に重点をおきます）
3. 題目と講師および日程表：

(1) ダム，河川コース (1965 年 8 月 2 日(月)~7 日(土))

日 時	午 前 9.00~12.00	午 後 1.30~ 4.30
2 日(月)	ダムの Spillway の設計 東北大学工学部教授 工博 岩 崎 敏 夫	ダムの outlet works の設計 北海道大学工学部教授 工博 山 岡 勲
3 日(火)	ダムにおける sedimentation 京都大学防災研究所教授 工博 芦 田 和 男 京都大学防災研究所助教授 工博 土 屋 義 人	河川流出の例題解説 京都大学工学部教授 工博 石 原 安 雄
4 日(水)	開水路流れの例題解説 京都大学工学部教授 工博 岩 佐 義 朗	護岸，水制，床固めの水理機能 建設省土木研究所河川部長 工博 吉 川 秀 夫
5 日(木)	湾曲水路の流れ 北海道大学工学部教授 工博 岸 力 北海道における河川工事の特色 北海道開発局建設部長 町田利武	護岸，水利，床固めの工法，設計例 建設省河川局治水課長 古賀雷四郎
6 日(金)	水門，樋門の工法，設計例 名古屋大学工学部教授 工博 西 畑 勇 夫	特 別 講 演 I
7 日(土)	密 度 流 論 東京大学工学部教授 工博 嶋 祐 之	修了式，懇親会

(2) 海岸，港湾コース (1965 年 8 月 9 日(月)~14 日(土))

日 時	午 前 9.00~12.00	午 後 1.30~ 4.30
9 日(月)	波浪推定法例題解説 九州大学工学部教授 工博 井 島 武 士	波浪スペクトル論とその応用 運輸省港湾技術研究所水理研究室長 工博 浜 田 徳 一
10 日(火)	漂 砂 論 東京大学工学部助教授 工博 堀 川 清 司	漂砂測定法 北海道大学工学部教授 理博 福 島 久 雄
11 日(水)	波 圧 論 九州大学応用力学研究所助教授 理博 光 易 恒	消波構造論 北海道大学工学部教授 工博 尾 崎 晃
12 日(木)	波 動 論 北海道大学工学部教授 工博 岸 力 北海道における海岸の諸問題 北海道開発局港湾部長 穴益正吉	海岸堤防計画論 運輸省港湾局防災課長 久保島信弘
13 日(金)	海 岸 堤 防 論 京都大学防災研究所教授 工博 岩 垣 雄 一	河口密度流論 北海道大学工学部教授 理博 柏 村 正 和
14 日(土)	高潮および津波論 大阪大学工学部教授 工博 室 田 明	修了式，懇親会

特別講演の講師：

I 京都大学工学部教授・防災研究所長 工博 石原藤次郎 II 東京大学工学部教授 工博 本間 仁

4. 定 員：ダム・河川コース，海岸・港湾コースとも各 100 名
5. 参 加 費：1 コースにつき 5 000 円（ただしテキスト代を含む）
6. 申 込 方 法：受講希望者は勤務先，連絡先，氏名，およびコース名（ダム・河川コースまたは海岸・港湾コース）明記のうえ，1 コースにつき参加費 5 000 円をそえてお申込み下さい。
7. 申 込 先：土木学会北海道支部（札幌市平岸無番地 北海道開発局土木試験所内 電話 (0122) 83—4161（内線 120），振替口座 小樽 20603 番）
8. 申 込 期 日：1965 年 7 月 15 日（木）
9. そ の 他：テキストのみの頒価は未定です（追って会告）

関東支部行事案内 (東京都新宿区四谷1丁目 土木学会事業課内・電話 東京 351-5138)

(1) 黒四ダム発電所見学会 ◀8月3日(火)～4日(木)▶

1. 定 員：40人(発電所へは15人)
2. 日 程：8月3日午前6時 国鉄大糸線信濃大町駅前集合～黒四ダム，発電所～信濃大町駅～松本駅～上諏訪駅～宿泊，懇親会8月4日朝食後解散
3. 参加費：2500円(8月3日朝食から8月4日朝食までの一切)
4. 申 込：7月23日(金)までに参加費を添えて関東支部へお申込み下さい(参考：ゆきの列車，8月2日23時0分新宿発急行「第2白馬」で信濃大町に8月3日5時57分に着きます。かえりの列車，8月4日9時0分上諏訪発急行「たてしな」で新宿に12時56分，または10時27分上諏訪発急行「第2アルプス」で新宿に14時13分に着きます。)

(2) 秋のエキスカション ▶9月29日(水)～30日(木)▶

1. 定 員：100人(バス2台)
2. 日 程：9月29日8時30分土木学会集合～中央道工事～小仏トンネル工事～笠子トンネル工事～ぶどう狩～石和温泉宿泊
9月30日8時30分 石和温泉発～御坂トンネル～河口湖～富士スバルライン～山中湖～御殿場～松田～東名道路工事～渋谷または代々木18時解散
3. 参加費：3000円程度の予定
4. 申 込：参加費決定額とともに8月号に会告いたします。予約申込み者は優先的に受け付けいたします。

中部支部行事案内 (名古屋市中区南外堀町6-1 愛知県土木建設部道路課内)

(1) 昭和40年度第2回見学会 ▶8月27日(金)9.00～▶

場 所：名阪国道舗装工事
 参加費：200円
 定 員：80名
 申込問い合わせ：名古屋市中区南外堀町6-1 愛知県庁土木部道路建設課内 土木学会中部支部

(2) 昭和40年度第1回技術講座 ▶9月22日(水)9.00～▶

場 所：名古屋大学 C₂教室
 講 座：交通工学
 題目および講師：

1. 交通工学概説	名古屋工業大学 教授	渡 辺 新 三
2. 交通観測について	名古屋工業大学 教授	渡 辺 新 三
3. 交通流の特性	名古屋大学 教授	毛 利 正 光
4. 道路網計画，交通計画に対する基礎的な交通分析	岐阜大学 助教授	加 藤 晃

定 員：80名
 申込および問い合わせ：名古屋市中区南外堀町6-1 愛知県土木部道路建設課内 土木学会中部支部

(3) 昭和40年度第1回研究発表会 ▶10月22日(金)▶

場 所：名古屋大学工学部
 発表者および題目：9月号でお知らせします。
 問い合わせ：名古屋市中区南外堀町6-1 愛知県土木部道路建設課内 土木学会中部支部

第3回岩盤力学に関するシンポジウム講演募集

土木学会岩盤力学委員会では、下記により第3回岩盤力学に関するシンポジウムを開催いたしますので、講演ご希望の方はふるってご応募下さい。

1. 期 日：1965年11月
2. 場 所：土木学会土木図書館講堂
3. 講演申込要項：
 - (1) 内 容：地質、岩石の性質、岩盤の性質、水と岩盤、基礎的な理論、岩盤の力学的取扱い、掘削、ダム基礎への応用、トンネルへの応用、施工前後の測定、その他
 - (2) 講演申込：締切：8月末日
 - (3) 申 込 先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会岩盤力学委員会
 - (4) 申込要領：講演題目、氏名、勤務先および内容梗概を付して申込むこと。
 - (5) 原稿締切：9月末日。

注：1) 講演時間は、1件討議を含め30～40分程度を予定しております。
 2) 講演の採否その他については岩盤力学委員会にご一任下さい。
 3) プログラムが決定いたしました上は、講演者に対し、講演原稿をご執筆いただき、オフセット印刷のうえ、当日実費配布する予定です。

他学会と相互便宜供与のお知らせ

最近の科学技術はあらゆる専門分野の総合技術でありまして、学協会の研究活動においても相互に深い関連が生じてまいりましたので、このたび、有志下記学協会では会長懇談会を設けました。

その懇談会の申合せにより下名学協会は相互会員に門戸を開放して、お互の会員に便宜をはかり、学会活動を広く展開することによって学問の向上に資することいたしました。

具体的には参加学協会の本部、支部が主催する事業のうち、他の参加学協会会員の利用に供し得る事業を通知し、希望者に対してはその学協会会員に準ずる取扱をいたすことになりましたので会員各位におかれましてもご希望の行事には積極的にご参加下さい。

記

1. 相互会員の利用に供し得る事業ならびに範囲：(1) 講演会、講習会、公開座談会等の学会事業への出席 (2) 特定の会誌・論文集等刊行物の入手 (3) 図書館(室)の利用 (4) その他適当な事業
2. 通知の方法：参加学協会の機関誌会員欄に学協会だよりを設けて主催学協会名、事業の主題、実施時期、申込先等を掲載するからそれによって承知されたい。
3. 利用上の注意：(1) 申込方法その他すべて主催学協会の規程、注意事項に従うこと (2) 詳細を知りたい場合は直接主催学協会へ問合せること (3) 利用に際しては所属学協会名を明記すること

参加学協会：電気学会・電気通信学会・土木学会・日本化学会・日本機械学会・日本建築学会・日本鉄鋼学会・日本物理学会

災害科学に関する第2回合同総合講演会

◀10月18日(月)～19日(火)▶

文部省科学研究費特定研究(災害科学)の災害科学総合研究班(研究代表者 京大名誉教授 理学博士 長谷川万吉氏)が中心となり、(1)災害科学に関する研究成果の発表と、(2)災害科学防災科学の基本問題に関する討議の機会を提供し、(3)あわせて今後の研究連絡をはかる目的をもって、下記要領により総合講演会を開催いたしますので、本学会はこれを後援することになりましたのでふるってご参加下さいますよう、ご案内いたします。

1. 期 日：1965年10月18日(月)9.00～17.00
 " 10月19日(火)9.00～17.00
 2. 場 所：東京大学工学部2号館 東京都文京区本郷7丁目
 3. 研究発表会：各人講演時間15分
 講演題目のみを7月15日までに提出願います。講演要旨は400字詰原稿用紙3枚以内として、8月15日までに提出願います。
- 提出先は本総合研究班の専門分科会、地区部会の幹事または東京大学地震研究所金井 清教授あてにして下さい。